

2026年度 大学院試験問題

6月試験

解答例

※著作権法上の理由によりウェブサイトに掲載できない過去問題は含まれません。なお、受験者のいない科目は、問題を作成していません。

出題の意図

外国語科目：専攻での研究内容に関連した外国語能力を測った。

専門科目：専攻での研究内容に関連した基礎科目の習熟度を測った。

小論文：専攻での研究内容に関連した総合的知識と論述力を測った。

小論文（採点基準）

6月試験

①文字数

- ・ 1,100～1,300 字程度

②採点のポイント

〔観点1〕 設問理解と全体構成

- ・ 働く人のモチベーションについて、制度面／心理的要素／評価やコミュニケーションの観点から論じているか
- ・ 導入／本論／結論の流れがあり、論述として成立しているか

〔観点2〕 理論・概念の活用

- ・ マズロー、ハーズバーグ、期待理論などのうち、1つ以上の理論を用いているか
- ・ 理論を単に説明するだけでなく、企業の人材マネジメントと結びつけて論じているか

〔観点3〕 具体性・応用力

- ・ 講義内容、書籍、ニュース、企業事例などを1つ以上用いているか
- ・ 抽象的な議論にとどまらず、企業が今後行うべき組織運営について自分の言葉で述べているか

③必要なキーワード

- ・ モチベーション
- ・ 人材マネジメント
- ・ 評価制度 ・ 働きがい
- ・ 内発的動機づけ／外発的動機づけ
- ・ マズロー／ハーズバーグ／期待理論
- ・ 組織文化／コミュニケーション

問1. 以下の英文（の出典以外）を全て、日本語に訳しなさい（10点：10,8,6,4と0で点数化）

出典: Clayton M. Christensen et al., The Prosperity Paradox: How Innovation Can Lift Nations Out of Poverty, 市場を創造するイノベーションの潜在力の、最も明確な例は、おそらくモデルTのイノベーションにて見ることができる。約1世紀前、アメリカの車は、富裕層の玩具であり、ステータスシンボルだった。1900年代のアメリカで登録されていた車は、1万台に満たないものであり、これらの車はカスタムメイド車であり、実利用のためではあるものの、ステータスを誇示するためのものでもあった。車を運転できる舗装された道は少ししかなく、燃料補給のためのガソリンスタンドは少なく、車を購入できるほどの裕福なアメリカ人は僅かであった。ヘンリー・フォードは、その全てを変えたのである。

問2. 以下の英文は、問1と同じ文脈で書かれた文章である。

これを参考にして、フォードが成し遂げた業績を、数行程度（英語または日本語）で述べなさい。以下の英文の要約を述べるだけでもよい（4点：4-A,3-B,2-C,1-D,0-Eで分類）

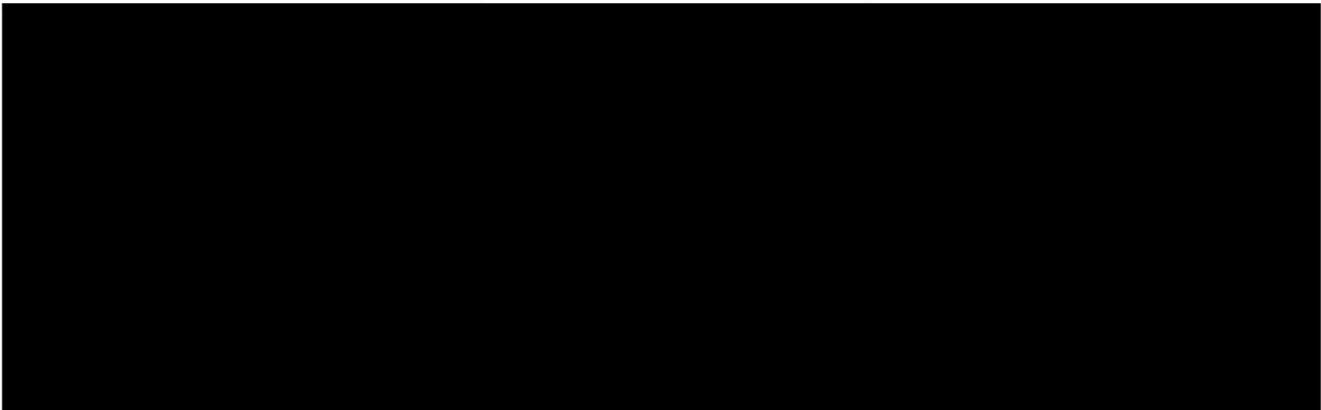
出典: Clayton M. Christensen et al., The Prosperity Paradox: How Innovation Can Lift Nations Out of Poverty,

【直訳】この原稿を書いている時点で、115才を越えるフォード・モーター社は、年間1500億ドル以上の収益をあげ、20万人を越える人々を世界中で雇用し、2000億ドル以上の資産を持つ企業である。しかし、ヘンリー・フォードが、平均的なアメリカ人のための車を作る、と大胆に決心したころ、世の中の大部分は、懐疑的な人たちばかりであった。そのとき批評家たちは、6ヶ月以内にビジネスから退くだろうと予想していた。しかし、フォードは持ちこたえた。彼は次のように宣言した。

「私は、数多くの人々のために車を作る。家族のために十分大きく、個人が走らせ面倒をみるのに十分小さい。その車は、最高の材料を使い、雇用されうる最高の職人によって、現代の技術が生み出しうるシンプルなデザインに基づいて作られる。しかし、それなりの給料を得ている人であれば、誰でも購入できるぐらい安価なものになる。そして、神が与える喜ばしい開放空間の中で、家族と一緒に素晴らしい時間を楽しんでほしい。」

【業績(案)】一般人には想像すらできない、素晴らしい新しい世界を思い描き、市場を創造するイノベーションを実現したのがフォードである。当時の批評家たちが6ヶ月以内にビジネスから退くだろうという予想に反し、平均的なアメリカ人のための大衆車を作りあげた。それまでは、アメリカで車を購入できるのは富裕層だけであった。そんな時代に、フォードは多くのアメリカ人に車を提供し、アメリカに大きな文化的変容をもたらしたのである。

問3. 以下の英文を読み、その次にある3つの問い(3a,3b,3c)に、英語または日本語で簡潔に答えなさい
(合計6点)



3a. What two main points does the writer make about the topic of the paragraph? (2点)

Gold is beautiful and useful.

3b. In which two sentences does the writer say that there are two main points? (2点)

In the first and last sentences.

3c. What examples does the writer use to support each point? (2点)

Beautiful — Macedonian coin; useful — photography, dentistry, astronauts' suites

3aの回答にある2項目と対応して欲しい。

出典: Alice Oshima and Ann Hogue, *Writing Academic English, Fourth Edition*, Pearson Education, 2006.

2026年度 大学院試験問題

10月試験

解答例

※著作権法上の理由によりウェブサイトに掲載できない過去問題は含まれません。なお、受験者のいない科目は、問題を作成していません。

出題の意図

外国語科目：専攻での研究内容に関連した外国語能力を測った。

専門科目：専攻での研究内容に関連した基礎科目の習熟度を測った。

小論文：専攻での研究内容に関連した総合的知識と論述力を測った。

問1. 以下の英文（の出典以外）を全て日本語に訳し、解答用紙に書きなさい。

あなたの主目的は論文を出版することであり、論文を出版するかどうかを決める人は、その論文のジャーナル編集者と論文査読者（審査員）である。

読みやすさは、査読者（審査員）にとって大事な関心事になる。もし論文が読みづらかったら、出版されることはない。しかし、もし論文にある文法・字句の誤りが少しぐらいであれば、出版されることはある。なぜなら、そのような誤りが、読者の理解を妨げることは希だからである。読みやすさは、読者にとって、論文を理解するために費やす労力に関係する。

英語は、徐々に読者指向の言語になりつつある。そのような状況では、読者に印象を与えるというよりも、読者を助けることに、著者が責任を感じるようになった。ということは、上手く書かれた論文では、アイディア間の繋がりを明解にするために、不必要な情報が切り落とされ、有用な情報の全てが示されるべきである。

問2. 以下の英文を参考にして、太字・下線で示した **tunnel vision** について簡潔に（日本語または英語で）述べなさい。以下の英文の要約を述べるだけでもよい。

文中の“blinding us to alternative possibilities”を中心に論述してほしい。

日本語例： 自分の好む考え方とは異なる、他の可能性を考慮しようとする姿勢。

英語例： Tunnel vision means that individuals filter out possibilities that are inconsistent with their viewpoint, and they focus on only things that are consistent with their perspective.

問3. 次の6つの文(3a,3b,3c,3d,3e,3f)中に示した太字・下線の部分が冗長な表現であるため、各々1つの英単語に置き換えたい。置き換えるべき適切な英単語を解答用紙に書きなさい。例えば、以下に示す例文の場合、1つの英単語 **than** で置き換えることができる。

例文. This engine is more powerful with respect to with the previous version.

回答例

3a. This takes place for the period of time between May to July.

between

3b. Several papers on this topic appeared in the course of the last century.

during

3c. There are serious problems on account of the fact that the performance is erratic.

because / since / as

3d. In the normal course of events, such occurrences are rare.

Normally

3e. It is probably the case that x is higher than y.

Probably / Likely

3f. This was done by means of the tracking feature.

using / with

10月試験

①文字数

- ・1,100～1,300字程度

②採点のポイント

〔観点1〕設問理解と全体構成

- ・企業の「利益追求」と「社会的責任（CSR）」という2つの役割を正しく理解し、それらの関係性について論じているか
- ・導入／本論／結論の流れがあり、論述として成立しているか

〔観点2〕理論・概念の活用

- ・ステークホルダー理論、CSR、CSVなどの概念を1つ以上用いているか
- ・概念を単に説明するだけでなく、企業行動や経営戦略と結びつけて論じているか

〔観点3〕具体性・応用力

- ・講義内容、書籍、ニュース、企業事例などを1つ以上用いているか
- ・抽象的な議論にとどまらず、利益と社会的責任をどのように両立させるべきかについて自分の言葉で述べているか

③必要なキーワード

- ・ステークホルダー
- ・CSR（企業の社会的責任）
- ・CSV（共有価値の創造）
- ・持続可能性／サステナビリティ
- ・企業価値
- ・環境配慮／地域貢献

2026 年度 中部大学大学院入学試験問題

試験日：2025 年 10 月 4 日(土)

区 分	経営情報学研究科 経営学専攻	科 目 名	外国語科目・専門科目・ <u>小論文</u>	参照物	持込 可・不可
	<u>博士前期/修士</u> ・博士後期 一般試験・社会人試験・留学生試験		小論文解答用紙	形式	全部で 2枚 (うち解答用紙1枚)

評価のポイント ※問題の意味をきちんと理解し、経営に関連する知識を踏まえ、きちんと論理的に説明できているかどうかを評価する。

※下記の解答は解答例です。下記の解答例以外でも、因果関係がきちんと説明され、論理的な説明であればプラス評価とする。

問題 1. 日本の大企業がなぜスタートアップ投資を増やしているのか、その理由をメリットとデメリットを含めて説明せよ。(大企業側からのメリットとデメリット)

日本の大企業では長年、自前主義と呼ばれるような自社開発の技術を重視する傾向が強かった。しかし、技術革新のスピードが上がるにつれて、すべての技術を自社内で開発するのは困難になっている。そのため技術の一部やすべてを外部から調達し、それを使って新商品や新サービスを開発する「オープンイノベーション」という手法が近年、広まっている。大企業がスタートアップ投資を増やしている理由には、このような背景がある。

スタートアップ投資を増やすことは、大企業が自社のみでは網羅できない技術を確保できるというメリットがある一方、実際にはその投資先が倒産してしまったり、あまり有効活用できない技術であった場合には、投資した資金が無駄になるというデメリットもある。

問題 2. 大企業から出資を受ける新興企業のメリットとデメリットを説明せよ。(新興企業側からのメリットとデメリット)

多くの新興企業に共通する課題として、創業間もない頃の資金繰りが難しいという問題がある。そのため大企業から出資を受けることは、資金繰りの改善につながり、株主に大企業が存在することは、新興企業の信用度の向上にもつながる。

また新興企業では新技術やサービス、製品等はあるものの、それを販売するための販路を持たないといった企業も存在する。そこに大企業の資本が加われば、提携を結んだり、大企業の顧客企業を紹介してもらうなどの実務的なメリットも発生する可能性がある。

一方で、資本力に勝る大企業が新興企業の株主になることは、将来的に新興企業の経営権を奪ったり、買収する等の問題が発生する可能性もある。大企業が新興企業に出資をする理由のひとつが新技術の獲得である以上、その辺りの警戒も必要となる。これがデメリットのひとつである。

受験番号

氏名

配点

採点(得点)

2026年度 大学院試験問題

2月試験

解答例

※著作権法上の理由によりウェブサイトに掲載できない過去問題は含まれません。なお、受験者のいない科目は、問題を作成していません。

出題の意図

外国語科目：専攻での研究内容に関連した外国語能力を測った。

専門科目：専攻での研究内容に関連した基礎科目の習熟度を測った。

小論文：専攻での研究内容に関連した総合的知識と論述力を測った。

2026年度 中部大学大学院入学試験問題

010

1/1

試験日：2026年2月21日(土)

区分	経営情報学研究科 経営学専攻	科目名	外国語科目・専門科目・ <u>小論文</u>	参照物	持込可・ <u>不可</u>
	<u>博士前期/修士</u> ・博士後期 一般試験・社会人試験・留学生試験		小論文解答用紙	形式	全部で 2枚 (うち解答用紙1枚)

評価のポイント ※問題の意味をきちんと理解し、経営に関連する知識を踏まえ、きちんと論理的に説明できているかどうかを評価する。

※下記の解答は解答例です。下記の解答例以外でも、因果関係がきちんと説明され、論理的な説明であればプラス評価とする。

問題1. 近年円安が進んでいるが、トヨタ自動車株式会社を例に円安のメリットとデメリットを説明せよ。

一般的に円安は輸出企業の業績に対して、正の効果があるとされている。例えば1ドル=100円で、米国で車を1台販売し1万ドルの利益を得られれば、日本円で100万円の利益だが、円安が進み、1ドル=150円になれば、1万ドルの利益が150万円になるためである。また仮に100万円の利益を固定とすれば、ドルベースでの販売価格を抑えることも可能で、この場合、米国での販売価格を下げて販売台数を増やすことも可能である。

一方で、車を日本で製造し輸出するためには、原材料の輸入が必要で、円安が進めば輸入原材料のコストはアップしてしまうデメリットもある。さらに近年は日本で生産・輸出ではなく、現地生産の拡大も進んでいる。例えば米国で生産し、米国で販売する場合は円安のメリットはほぼ無くなってしまおうという課題もある。

問題2. 株式会社ニトリホールディングス等の、海外で製造した製品や商品を、日本に輸入する業種の企業にとって、円安はメリット・デメリットどちらが強いのか説明せよ。またデメリットがある場合、それを改善するために、どのような対策を実施しているか実際の企業の取り組みを使って説明せよ。

株式会社ニトリホールディングスのような、輸入した商品を販売する企業にとって、円安は業績に負の影響を与える。1ドル=100円の時に、1万ドルのものを輸入する場合、日本円にして100万円必要であるが、1ドル=150円になると、同じものを輸入するためには150万円必要になるためである。そして仕入れ価格が異なっても、販売時には同じものであるため、同じ価格で販売すれば円安時に輸入した商品は利鞘が減少し、販売価格を上げれば販売個数が減少する。そのため基本的には輸入企業にとって円安は好ましいものではない。

それに対して、ニトリは、SPAと呼ばれる企画から製造、物流、販売まで自社で行う仕組みを採用している。通常は企画から販売の間には多くの企業が存在し、それぞれの企業でマージンが発生している。そのためそれぞれの段階で円安の影響を受けるが、ニトリではSPAのおかげで中間マージンを無くすことが可能となり、円安によるコストの増加を最小限に抑えることができている。

	配点	採点(得点)

受験番号

氏名